

# 2023年8月度 大館市経済動向調査

2023年10月11日  
大館商工会議所・大館北秋商工会・大館市

1. 調査の目的 大館商工会議所・大館北秋商工会・大館市が、市内の経済動向を把握するため調査を行い、業種別や課題別等の分析結果を公表することで、経営判断に活用していただくことを目的に実施する。
2. 調査期間 2023年9月13日（水）～9月25日（月）
3. 調査対象 大館市内の商工会議所及び商工会の会員事業所：120件
4. 調査回答率 87.5%
5. 調査方法 調査票をFAX及び郵送により送付し、FAXまたはWEB回答フォームによる回答

## ～人流回復するも物価高等の影響が長引き、消費は伸び悩み～

### <大館市の概況>

全体として売上げは「やや増加」の回答が増加した。新型コロナ5類への引き下げや、行動制限のない夏となるなど、消費マインドの向上が要因と思われる。一方、売上が減少したと回答した事業所のうち、その要因について前回と比較すると「1. 来客数の減少」の回答が約6割減少したものの「6. 受注の減少」と回答した件数が依然として高止まりにある。

また、物価等の高騰による影響はほぼ全事業者が受けており、需要回復に悪影響を及ぼしていると考えられる。このことから、人流回復による改善がみられるものの、物価等の高騰により需要が伸び悩む状況が伺えた。

物価等の高騰への対策をとった事業所は全体の34%と前回調査より微増したが、依然として低水準、各者、対策に苦慮していることが伺える。なお、対策の内容は、前回割合が多かった「節電」関連のコメントのほかに、「価格転嫁の実施」や「仕入れの見直し」関連のコメントが同数程度得られた。

現状について、行政等に求める支援として最も優先順の高いものは「電気・ガス・灯油・重油代等に関する補助」となり、前回から引き続き、最も優先度の高い項目となった。

### <製造業>売上げ横ばいも物価等の高騰による影響が大きい

売上げは、事業所により明暗は分かれるものの大半は「横這い」と前回の回答と同数程度となった。また、物価等の高騰で「大きな影響を受けている」と回答した割合も前回に引き続き6割を超えた。対策は半数以上が「節電」関連となり省エネ設備やLEDへの更新などを行っていた。

### <建設業>深刻な人手不足、人材確保が急務

今後実施すべき取組みで、8割以上が「働き方改革」と回答し、前回調査に続き最多で約3割増加した。「仕事内容が難しい・労働環境が過酷だというイメージがある」「求職者自体が不足している」「資格や技術を持った者がいない」との回答が多数を占め、業界に必要な人材の不足が伺える。

### <卸売・小売業>売上げは横ばい、人流回復も物価等の高騰により消費伸び悩みか

売上げ「横ばい」との回答が増加し最も多かった。新型コロナ5類引き下げによる人流回復で一部下げ止まりしたものと伺える。しかし、物価等の高騰の影響により消費は伸び悩んだと見られる。物価高等へ対策が十分でなく、「価格転嫁」や「仕入れ見直し」等の対策をしている事業者は限定的であった。

### <観光・サービス業>売上げは回復傾向、設備更新など物価高対策を図る

売上げは「増加」と「横ばい」が同数程度で、人流増加による回復がみられる。一方、業界として、物価等の高騰の影響を受けており、電気料高騰対策として「LED化」などがみられた。一部で「価格転嫁」する事業者がいるものの、実施できているのは少数であった。